

黒埼南ふれあい協議会ニュース

第23号

ふれあいかわら版

「みどりと森の運動公園」OPEN!!

オープニングイベントで賑わう

去る7月2日(土)・3日(日)の両日に亘って「みどりと森の運動公園」のオープニングイベントが実施されました。両日ともに子ども達や多くの市民が盛りだくさんなイベントを楽しんでおりました。

オープン初日は、午前10時から開園式が、屋内コートで行われました。

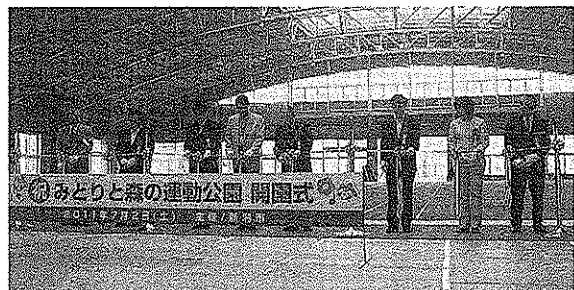


新潟市長からは「新潟市と黒埼町の合併建設計画の最大のプロジェクトがこのように立派に完成した。一番の目玉は公認野球場の完成である。レベルの高い大会の開催が可能となった。

多目的グラウンド、あそびの森広場、ウォーキングやジョギングのできる園路など、健康づくりの拠点が身近に誕生した。大いにご活用いただきたい。」旨の式辞がありました。

続いて、藤田隆市議会議員長の来賓祝辞、来賓紹介に続いて、鈴木亨新潟市西区長からは「運動公園の事業は、住民福祉の向上を図り、誰もが運動とレクリエーションを楽しめる公園整備を目的として計画した。平成15年度の本構想からスタートし完成に至るまで9年間、総事業費は47億円を要した。」旨の工事経過の報告がありました。

最後に篠田昭市長、青木太一郎県議会議員、永井武弘・明戸和枝の両市議会議員および江端直樹黒埼南ふれあい協議会会長らがテープカットを行って開園式は終了となりました。



テープカットの様子

開園式終了後、みどりの森「野外ステージ」において、板井と木場の芸能保存会ら

が、花笠踊り、棒踊り、手踊り、法然踊りなどの郷土芸能を披露しました。

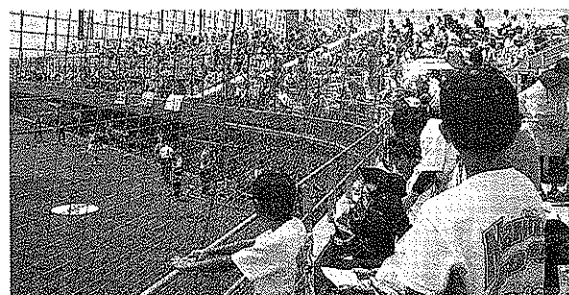
赤塚伝統芸能保存会からは赤塚太々神楽が披露され、午後からは愛一二三歌謡ショーと小林史佳の三味線ライブが披露されました。



愛一二三歌謡ショー

板井手踊り

午後1時からは野球場のこけら落としであるBCリーグ公式戦として、新潟アルビレックスと信濃グランセローズの後期開幕試合が行われました。



BCリーグ公式戦の観客

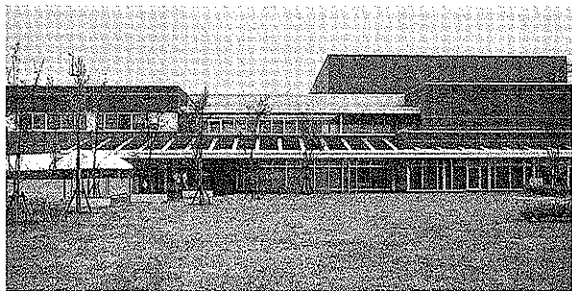
オープン2日目は、屋外フットサルコートで、アルビレックス新潟によるサッカー教室が開かれ、野球場では新潟アルビレックスBC野球場による野球教室が開かれて、多くのサッカー少年や野球少年が専属コーチの指導を受けておりました。

また、みどりの森「野外ステージ」では黒埼南小学校児童によるダンスパフォーマンスが披露され盛んに拍手を受けておりました。坂井輪中学校による吹奏楽演奏、専門楽団による金管アンサンブル、クラシック×ジャズ・アンサンブル、弦楽四重奏なども演奏されました。

この他にも、オープニングイベントは両日に亘って、農産物の直販、体組成計測定、佐潟の展示コーナー、おもちゃづくりコーナーと商工会による飲食物販売コーナーなどでイベント満載の2日間でした。

まいぶんポート、
新潟市文化財センターも
オープン！！

去る7月29日(金)午後2時から旧木場小学校の跡地にできた「まいぶんポート新潟市文化財センター」における開所式が行われました。



まいぶんポート外観

最初に黒埼南小学校6年生が、新潟市指定文化財の棒踊りを披露し、まいぶんポートの門出を祝舞いました。



南小6年生による棒踊り

挨拶に立った篠田昭新潟市長は、「新潟市との大合併で広範囲に多くの遺物を抱えることになった。古民家の武田家という歴史のあるところに「まいぶんポート」の施設を整備させていただいた。多くの市民や子ども達から新潟の地下に眠っていた遺物を学んでいただき、新潟市歴史文化博物館にも足を運んでいただきたい。」旨の挨拶を行いました。

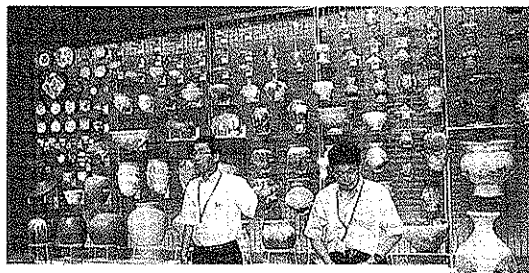
続いて、藤田隆新潟市議会議長、甘粕健建設等検討委員会委員長からそれぞれ来賓祝辞がありました。

最後は篠田昭新潟市長、小嶋孝代新潟市教育委員会委員長、甘粕健建設等検討委員会委員長、小林忠芳木場地区連合自治会長がテープカットを行いました。



テープカットの様子

引き続き、高橋保新潟文化財センター所長の説明と誘導で、施設内の土器や石器や木器などを展示している展示室、整理・保存処理を行う調査研究室や木器保存処理室など、収蔵・保管する埋蔵文化財収蔵庫など、および民俗資料収蔵庫や旧武田家住宅などの所内見学を行いました。



展示室の様子



旧武田家の外観

なお、総事業費は19億7千万円で、全国的にも市レベルでこれだけの施設を整備しているのは新潟市だけと関係者は語っておりました。